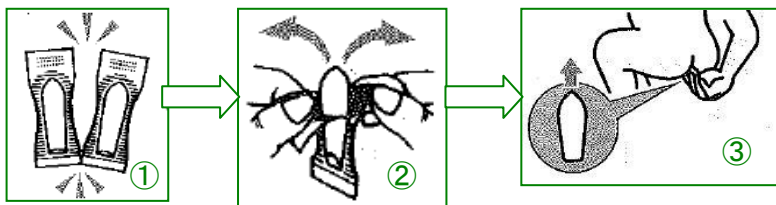




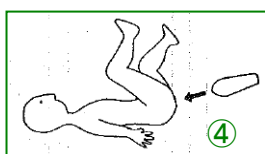
坐薬の使い方

★ 坐薬の入れ方

- 1) まず、手を洗きましょう。
- 2) 坐薬が入ったシート1個を切り離し《図①》、両手で左右に引き剥がす《図②》。
- 3) シートから取り出した坐薬は、先のとがった方から肛門に挿入していきます《図③》。



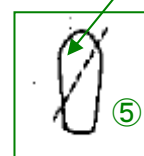
(①～③ボルタレン坐剤指導箋より)



- ・ 大人の方は横向きに寝た状態で、小さいお子さまでは、オムツを替えるときにのように両足を上げた状態《図④》が比較的に入れやすいです。
- ・ うまく入らないときは、坐薬の先を少量の水やサラダオイルなどでぬらすと、入りやすくなります。

- ・ 5～10分くらいは、入れた坐薬が出やすいので、じっとしていきましょう。ティッシュなどで肛門を抑えておくと出てきません。
- ・ 半分に切って使う場合は、シートの上から清潔なカッターナイフなどで斜めに切る。《図⑤》

こちらから挿入



★ 入れた坐薬が出てきてしまった場合は・・・

- ・ しっかりと坐薬の形が残っている場合は、再度挿入するか、新しい坐薬を挿入します。(④⑤アルピニー坐剤指導箋より)
- ・ 入れて5分ぐらいで溶け始めている場合は、既に薬の吸収が始まっています。新たな薬は使わずに、しばらく様子を見ましょう。症状が治まらなければ再度挿入します。
- ・ 排便によって入れたばかりの坐薬が出てしまうことを防ぐため、便意を催しそうな場合は、排便をしてから、坐薬を挿入しましょう。



★ 2種類の坐薬を使う場合の順番

- ・ 基本的には、早く効かせたいほうを先に入れます。
- ・ 2種類の坐薬の基剤が同じ場合は、最初の坐薬を挿入後、5分ぐらい待ち、坐薬が出てこないことを確認したら、続けて次の坐薬を挿入します。
- ・ 基剤が違う場合は、**水溶性基剤の坐薬**を先に挿入し、30分以上開けて**脂溶性基剤の坐薬**を使用します。続けて挿入すると成分の吸収が遅れることがあるためです。
- ・ 2種類の坐薬が処方された場合は、使う順序を薬剤師に確認しておきましょう。

【例】

- ① ダイアアップ坐薬とアンヒバ坐剤:
けいれんを止める・予防することが第一なので、最初にけいれんを止めるダイアアップを使用。30分以上あけて解熱剤のアンヒバを。
- ② ナウゼリン坐薬とアンヒバ坐剤:
吐き気を止めるナウゼリンを使用。30分以上あけて解熱剤のアンヒバを挿入。
- ③ 新レシカルボン坐剤など便秘用の坐薬:
最後に挿入する。先に挿入した坐薬の薬が吸収されるまで、1時間程度間隔を開けて挿入しましょう。

【脂溶性基剤の坐薬】

(油に溶けやすい)
アンヒバ
アルピニー
カロナール
ボルタレン
ネリプロクト
新レシカルボン

【水溶性基剤の坐薬】

(水に溶けやすい)
ダイアアップ
ナウゼリン
レペタン

★ 保管方法は？

- ・ **脂溶性基剤の坐薬**⇒温度が上がると溶けるので、冷蔵庫に保管する
- ・ **水溶性基剤の坐薬**⇒水分で溶けるので、室温に保管でよい